

日本臨床発達心理士会千葉支部 2020年度第3回資格更新研修会のお知らせ

日時 2021年2月21日(日) 13時00分～16時00分

会場 Zoomによる配信(入室は12時30分より可能)

千葉支部会員向け研修会(他支部からの参加はできません)

事前参加申込が必要、定員60名、参加費1,000円、研修ポイント1ポイント

テーマ「新型コロナ禍のもとでの発達支援について―就学前を中心に―」

講師 松川 節理子 先生(富里市健康福祉課)

齊藤 順子 先生(成田市福祉部障害者福祉課)

関口 薫 先生(白井市教育委員会教育支援課)

石井 正子 先生(昭和女子大学)

要旨

本研修会は、Zoomによる配信にて実施します。

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化するなか、家庭においては、日常生活や育児などにおいて様々な形での影響が出てきています。私たち臨床発達心理士がかかわる保育、教育、福祉、医療など場での相談・支援においても、多くの制約や難しい状況が出ている様子が伝わってきます。

このような状況のなかで、本研修会は、就学前の子どもたちの相談・支援に携わる3人の先生方より現状について話題提供をしていただき、あわせて参加者の方たちによる情報交換を行い、石井正子先生(昭和女子大学)よりコメントをしていただきます。

本研修会をとおして、新型コロナ禍のもとでの発達支援の現状と今後について、参加者全員で考える機会としたいと考えます。

○参加方法

◆千葉支部会員向け研修会で事前参加申込が必要です。

申込受付期間 2021年1月1日(金)より1月20日(水)まで。

氏名、登録番号を明記の上、jacdpchiba@yahoo.co.jp宛てにメールで送信してください。

参加の可否についてと参加費の振込方法について返信します。先着順に受け付け、定員になりしだい締め切りといたします。

◆2020年度までの会費が未納の方は参加できません。不確かな場合は必ず申込前に会員情報管理システム SOLTI で確認してください。

◆参加費の振込が完了した方に、研修会資料の配布方法とZoomへの参加方法について、メールで送信します。申込時のアドレスに返信しますので、必ず返信メールが受け取れるアドレスから参加申込をしてください。

◆当日の研修会終了後1時間以内に、講義の中にあつた複数の「合い言葉」についてメールで送信していただき、研修会参加が完了したことになります。

- ◆本研修会に参加するためには、Zoom ミーティングに参加するための設備(パソコン、Web カメラ、マイク等)と環境(ソフト、インターネット接続)が整っている必要があります。
- ◆Zoom に不慣れな方のために、事前に接続・参加のテストをする練習会を設けます。日時と方法については参加者にメールでお知らせします。

○確認事項と遵守事項

申込にあたっては必ず下記についてご確認ください。申し込まれた方については下記の確認事項と遵守事項に同意されたものとさせていただきます。

◆確認事項

当日の通信状況や参加者の操作ミス等により講義を視聴できなかった場合について、講義内容の再配信は行いません。視聴できずポイントが付与されなかった場合は、参加費を返金いたします。また、参加費振込後にキャンセルをされ視聴しなかった場合も返金をいたします。返金額は参加費から振込手数料を差し引いた金額といたします。

◆遵守事項

1. Web 研修会を受講できるのは、受講申込をした本人に限られます。本人の代わりに他人が受講してはいけません。
2. 講義や資料のリンク先の URL を他人に教えたり、SNS やブログなどで公開したりしてはいけません。
3. 講義を撮影、録画、録音、公開をしてはいけません。
4. 講義内容や配付資料を SNS やブログなどに公開してはいけません。
5. 配付資料の電子ファイルを他人に送信したり、コピーを他人に配付したりしてはいけません。
6. その他、倫理綱領に抵触する行為をしてはいけません

(以上の遵守事項は、「士会支部主催のオンライン研修会においてポイントを付与する基準」

2020.8.8 日本臨床発達心理士会執行部会、より)

千葉支部 2020年度第3回資格更新研修会 報告

2021年2月21日(日)13時～16時 Zoom 配信によるオンライン研修会

テーマ「新型コロナ禍のもとでの発達支援についてー就学前を中心にー」

講師 松川 節理子 先生（富里市健康推進課）

齊藤 順子 先生（成田市福祉部障害者福祉課）

関口 薫 先生（白井市教育委員会教育支援課）

石井 正子 先生（昭和女子大学）

2020年度第3回資格更新研修会について、第2回に引き続きZoomによるオンライン研修会として実施いたしました。今回も、事前の準備も含めて報告をさせていただきます。

11月に行った第2回資格更新研修会終了後、第1回の研修会が中止となったこともあり、何とか年度内にもう1回研修会が行えないかと役員会で検討し、2月にオンライン研修会の形で実施することとしました。テーマについては、現在会員の皆さんの関心の高い内容と思われる、コロナ禍における支援の現場の状況について考える機会とすることとし、標記のテーマを設定し、話題提供の3人の講師の先生方とコメンテーターとして石井先生にお願いしました。

今回もオンライン研修会にともなう事前準備や参加者数の制約ことを考慮し、千葉支部会員向けとさせていただきました。オンライン2回目ということで、11月の研修会に比べてスムーズに準備が進められました。研修会当日は、講師の松川先生、齊藤先生、関口先生については配信会場の千葉大学西千葉キャンパスで話していただき、コメンテーターの石井先生はご自宅からの参加していただきました。

松川先生からは、先生が関わっている富里市、東庄町など複数の自治体の親子教室の状況について、事業の状況、発達フォローの流れについて、コロナ前とコロナ禍の状況を比較しながら詳細な説明がありました。齊藤先生からは、成田市の紹介、子ども発達支援センターの事業紹介、療育業務の内容、コロナ禍での対応・手段、対応したことにより気づいた点、保護者からの意見等について、施設レイアウトの写真等も交えながらの説明がありました。15分の休憩を挟んで、関口先生からは、白井市の特別支援教育と就学相談の流れについて、新型コロナウイルス感染拡大にともなう学校の状況と市の業務体制の変更や就学相談の状況と、ここ数年の就学相談の傾向と今年度のコロナ禍の影響について、そしてまとめとして、改めて大切だと思ったこと今後の課題について説明がありました。

その後参加者の方々からの情報提供として、当日の参加者のなかから中村先生に船橋市の状況を、越名先生より流山市の状況をお話していただきました。

ここでまた15分の休憩をとり、石井先生にまとめのお話をしていただきました。「3つの発表を聞いて考えたこと」としては、乳幼児期の発達支援体制整備の状況についてとコロナ禍での行政サイドと現場サイドの選択、配慮や影響について、コロナ禍においてこれまでの保育の常識とされていたこと(大勢の人とコミュニケーションをとる、スキンシップを大切にするといったこと)が覆される世界について、予想される親のストレス等について、調査結果や児童虐待の状況にも触れながら説明があり、最後に、「コロナ禍の影響の二極化」としてマイナスの影響とプラスの影響についてと、親のグループ活動の必要性と今後の発達支援の方向性についてお話いただきました。話題提供の3人の先生方の資料については事前にネット上に掲載して配布しましたが、石井先生のまとめについての資料は、研修会終了後3月3日まで同じように掲載し、参加者の皆さんがダウンロードできるようにしました。

今回も、研修会終了後、研修会のなかで提示した「合い言葉」を1時間以内にメールで送信していただくこととなっていました。終了と同時に参加者の方からのメールが送られてきた早速にメール受信が完了しました。

最終的な参加者は、講師の先生方を含めて53名でした。千葉支部ではオンラインでの開催が2度目ということもあり、また、このような形での研修会や会議が増えていることもあり、準備する側も参加者の方々についても慣れてきていると感じられました。参加者の皆さまのご協力に感謝いたします。

新型コロナの状況によっては、まだしばらくは今回のようなオンラインでの開催になっていくと思われます。引き続き千葉支部会員の皆さまのご理解をよろしく願います。

(事務局 鈴木彰典)